

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

政治セミナーを開催



関東地方協議会今井議長の開会挨拶で始まり、JR連合荻山会長の挨拶では、世界国内を含めた政治情勢を交えながら、政治に対する取り組みの重要性と本セミナーの意義を述べられ、続いて、千葉県選出の長浜博之参議院議員の挨拶では、国政報告と共に、夏に行われる参議院選挙に対する協力要請があり、『観光立国を推進し海外から観光客を受け入れるためにも万全な準備は必要であり、移動手段としての鉄道に予算をつけ、充実させなければならない』と話されました。

2月2日(日)、千葉県・メイプルイン幕張において、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」政治セミナーが開催されました。

このセミナーはJR連合主催、JR連合関東地方協議会、JR東海ユニオン共催で行われ、組合員とその家族・退職者も含め多くの参加者があり、貨物鉄産労関東地区本部組合員と南関東ロジスティクス労組組合員が参加しました。



立憲民主党野田佳彦党首による講演では、約1時間、ユーモアも交えながら『学校給食の無償化を目指したい。すでにインドネシアでは実施されており、日本としても学ぶべきものがある。アベノミクスは国民の格差を広げる結果となり、格差是正取り組んでいく。防衛費は8兆円と増えているが、農林・水産については5兆円から2兆円に減らされており、これでは農林水産業は疲弊してい

く。国として都市部・地方への鉄道インフラ整備は不可欠。官・民の連携は必要であり、議員フォーラムとしてもJR連合の鉄道政策を後押ししていきたい』と述べられました。



最後に、JR東海ユニオン尾内委員長による、セミナーのまとめと閉会挨拶を行い、有意義な時間を終えました。